

会 告

会員各位

2013年12月
日本熱帯農業学会

日本熱帯農業学会第115回講演会ご案内

期 日 2014年3月27日(木)・28日(金)
場 所 東京大学・本郷(弥生)キャンパス
事 務 局 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科
運営委員長 岡田謙介
運営委員 小林和彦, 鴨下顕彦, 高橋太郎
TEL: 03-5841-0770 (岡田)
FAX: 03-5841-5539
E-mail: akokada@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp (岡田: 参加・発表申込, 問合せ)

参加申込 研究発表の有無にかかわらず, 参加希望者はE-mailにより**2014年2月21日(金)**までにお申し込みください。件名は「第115回講演会参加申込」とし, ①申込者氏名, 所属, ②会員の種別(正会員, 学生会員, 外国人会員), ③懇親会参加の有無, ④研究発表の有無, をご記入ください。申し込みを確認しましたら事務局より申し込み確認メールを返信いたします。E-mailによる申し込みが不可能な場合はFAX(03-5841-5539 岡田宛)にてお申し込みください。

講演申込 発表希望の方は, 上記4項目に加えて, ⑤発表者氏名(共同発表の場合には演者の頭に*を付す), ⑥発表言語, ⑦発表題目, ⑧キーワード(3~4語)を記入し, **2014年1月24日(金)**までにお申し込みください。発表言語は日本語または英語とし, 発表題目とキーワードも同じ言語で記載してください。

研究発表の講演要旨原稿は, 下記の作成要領に従って作成し, PDFファイルに変換しE-mailの添付ファイルにて, **2014年2月21日(金)**まで上記運営委員会宛にご送付ください。E-mailによる送付が不可能な場合, 郵送でも受け付けます。

本講演会ではスライドを使用できません。事務局で準備する液晶プロジェクターをご利用できます。当日は液晶プロジェクター発表用に, ノートPC(Windows 7)を用意いたします。マイクロソフトPower Point 2007までのバージョンのファイルをPower Point スライドショー形式でUSBフラッシュメモリーまたはCD-Rに保存して, 当日ご持参ください。発表当日のPCの操作は, すべてご自身でなさるか, 操作者をご自身で手配してください。

日 程 2014年3月26日(水)
評議員会
2014年3月27日(木)
講演会
総会
シンポジウム: テーマ「途上国の発展における農学と医学の協働の可能性」(仮題)
懇親会
2014年3月28日(金)
講演会

参加費 一般: 5,000円, 学生: 3,000円(要旨集代を含む, 当日受け付けます)

懇親会費 一般: 4,000円, 学生: 2,000円(当日受け付けます)

講演要旨作成要領 (記入例参照)

- A4判2ページ縦置き, 横書きとする(用紙1枚が1ページとなる)。
- 打ち出しがそのまま白黒オフセット印刷される。
- a. 1枚目の最初の行は講演の順番を記入するため, 初めの5文字を空けて講演題目および発表者氏名・所属を和文・英文で併記する。連名の場合, 演者には姓の頭に*を付けること(いずれの項目も事前申込時と異なる様に注意してください)。
b. 1行空けて次の行より本文および図表を用紙2枚に収まるように適当に配列して記入すること。

- c. 要旨を作成するにあたっては、1枚当たり43行が入る程度を目安とし、1行あたり40字程度で記入すること。余白はA4版用紙の上下左右とも25mm、フォントは明朝体10.5ポイント程度とする。英文の場合、フォントはTimes New Roman、11ポイント程度とする。
 - d. 講演要旨原稿を紙で提出する場合、2枚目の右肩枠外に筆頭者名を鉛筆で記入すること。ページ数または番号は記さないこと。
4. 文字および図表はすべて黒色を使用すること。
5. 文章、生物名、学名その他の記述法は学会誌の投稿原稿作成要領に従うこと。

記 入 例

□□□□スリランカ傾斜農地における異なる土壌保全策が食用畑作物の収量変動に及ぼす短期的効果
 * シャンタ ヘワゲ¹・岡田謙介¹・高橋太郎¹・マノジュ コディカラ²
 (¹ 東京大学, ² スリランカ・バンダラウェラ地域農業研究普及センター)

The Short-Term Effect of Soil Conservation Measures on Yield Variation of Upland Food Crops
 on Sloping Agricultural Lands of Sri Lanka

*S. Hewage¹, K. Okada¹, T. Takahashi¹ and M. Kodikara²
 (¹Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Japan,
²Reg. Agr. Res. and Development Center, Dept. Agriculture, Bandarawela, Sri Lanka)

(一行空けて、本文を始める)
 この研究は、……………

<会場のご案内>

会 場 東京大学本郷(弥生)キャンパス 〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

交通案内 東京大学大学院農学生命科学研究科ホームページの「キャンパスガイド」をご覧ください。
 (<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/campus/index.html>)

地下鉄の南北線「東大前駅」(徒歩1分)または千代田線「根津駅」(徒歩8分)が便利です。

宿泊案内 インターネット、旅行会社などを通じて各自お申し込みください。



お知らせ

公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 平成26年度研究助成対象者募集要領

本財団は、農学、特に農芸化学（生物資源等）に関する学術研究を助成し、もって学術研究の発展に寄与することを目的とし設立されました。

本年度も、農芸化学等に関する研究を行っている大学等の研究機関の研究者に対し、研究助成金を交付いたします。特に、若手研究者への助成の枠を設け、今後の当該分野の研究促進に役立ちたいと考えています。平成26年度助成対象者は次の要領で募集いたします。

1. 研究分野

- (A) 豆類並びに穀類の生産技術（栽培・育種・施肥等）に関する研究
- (B) 豆類並びに穀類の品質成分，栄養生理，栄養機能，利用加工技術に関する研究
- (C) 納豆菌等微生物の特性・酵素等に関する研究

2. 研究助成対象者

- (1) 国内の大学，短大の研究者（大学院生も含む）
- (2) 国公立並びに独立行政法人等の研究機関の研究者
- (3) その他本財団の理事会において適当と認められた研究者
- (4) その他本財団が適当と認めた研究者

3. 助成金額

- (1) 一般研究者（40歳以上）1件当たり 100万円を7件程度
 - (2) 若手研究者（40歳未満）1件当たり 50万円を6件程度
- ※若手研究者は、昭和49年4月1日以降生まれの方

4. 交付時期

平成26年5月予定

5. 申請手続き方法

財団所定の申請書に必要事項を記入の上、平成26年1月15日から3月10日（必着）までに財団理事長宛てに郵送して下さい。

尚、申請書用紙は、タカノフーズ(株)ホームページ <http://www.takanofoods.co.jp/> 内【タカノ財団について】からダウンロードできます。

または、E-mailにお問合せいただけましたら、書類を添付して返信いたします。

6. 申請書請求先及び送付先

〒311-3411 茨城県小美玉市野田1542 TEL: 0299-58-4363 FAX: 0299-58-3847
(公財)タカノ農芸化学研究助成財団 E-mail: tazaidan@takanofoods.co.jp

7. その他

同一研究課題で、他の団体等へ応募され、かつ、本年度重複助成となられた場合には、助成をできない場合がありますのでご注意下さい。

